

誰もが暮らしやすいまちづくりのための 福祉に関するアンケート

～ご協力をお願い～

皆さまの回答は、誰もが暮らしやすい、支え合うまちづくりに役立ってます。

下線：R4 調査票からの変更内容（全編）

市民の皆さまには、日頃から市政発展のためにご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

市では、「地域福祉計画」「高齢者総合計画」「障害者総合計画」の福祉3計画を連携させて、子どもから高齢者まで、誰もが安心して暮らしやすいまちづくりを進めています。

このアンケートは、暮らしやすいまちづくりを着実に進めることに市民の皆さまの意見をい
かすため、18 歳以上の中から 2,000 人を無作為抽出したところ、あなたにアンケートをお願い
することになりました。

これからの福祉は市民が主役です。

例えば、地域の活動に参加したり、誰かが困っている
時に声をかけたりすることも、支え合うまちづくりのひとつです。

市民の皆さまをはじめ、地域の団体や商店、学校や
企業などの皆さまと一緒に、みんなで支え合うこ
とがとても大切になります。



このアンケートは無記名です。回答は統計的に処理いたしますので、個人が特定されること
はありません。また、回答を調査目的以外に使用することはありません。

お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願い申
しあげます。

令和 7 年●月 調布市長 長友貴樹

～記入についてのお願い～

【回答期限】 令和7年●月●日(●)

【回答方法】《郵送》または《インターネット》

(※あなたが回答しやすいどちらかの方法で、投函もしくは送信してください)

《郵送》調査票による回答の方法

①封筒のあて名ご本人がお答えください。

なお、ご本人が回答することが難しい場合、ご本人の意見を聞いて、ご家族や代理の人が記入しても差し支えありません。

②回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。「その他」を選択する場合は番号を○で囲み、()に具体的な内容を記入してください。

③質問によっては、回答数や回答者が限られる場合があります。

④回答所要時間の目安は30分です。回答終了後、同封の返信用封筒に入れて封かんし、回答期限までにポストに投函してください。

《インターネット》回答の方法

①以下のURL, またはQRコードから専用ウェブサイトアクセスしてください。

②調査票と同じ質問が画面に表示されます。

③回答には 30 分程度かかります。途中保存はできませんので、お時間に余裕のある時に回答してください。

<専用ウェブサイトURL>

https://*****

二次元コード

【調査についてのお問い合わせ先】

調布市 福祉健康部 福祉総務課

電話 042-481-7101(直通)

Fax 042-481-7058

E-mail fukusou@city.chofu.lg.jp

1 あなた(ご本人)についておたずねします

問1 性別を教えてください。(1つに○)

1 男性	2 女性	3 回答しない
------	------	---------

問2 年齢を教えてください。(1つに○) (令和7年●月1日現在)

1 10 歳代	3 30 歳代	5 50 歳代	7 70 歳代
2 20 歳代	4 40 歳代	6 60 歳代	8 80 歳以上

問3 お住まいの地域を教えてください。(1つに○)

番号に○	(参考)地域に属する地区(○は不要)
1	東つつじヶ丘1丁目, 2丁目 緑ヶ丘 仙川町 西つつじヶ丘1丁目, 2丁目, 3丁目 若葉町1丁目
2	東つつじヶ丘3丁目 菊野台 入間町 西つつじヶ丘4丁目 若葉町2丁目, 3丁目
3	佐須町1丁目, 2丁目, 4丁目, 5丁目 調布ヶ丘3丁目 柴崎 深大寺南町1丁目, 2丁目, 3丁目 深大寺東町3丁目, 4丁目
4	深大寺東町1丁目, 2丁目, 5丁目, 6丁目, 7丁目, 8丁目 深大寺北町 深大寺元町2丁目, 3丁目, 4丁目, 5丁目 深大寺南町4丁目, 5丁目
5	国領町1丁目, 2丁目, 3丁目, 4丁目, 5丁目, 8丁目 佐須町3丁目 布田2丁目, 3丁目 調布ヶ丘2丁目 八雲台
6	国領町6丁目, 7丁目 布田5丁目, 6丁目 多摩川6丁目, 7丁目 染地
7	多摩川1丁目, 2丁目, 3丁目, 4丁目, 5丁目 調布ヶ丘1丁目, 4丁目 布田1丁目, 4丁目 深大寺元町1丁目 下石原1丁目 小島町
8	上石原 富士見町 西町 下石原2丁目, 3丁目 飛田給 野水

調布市民福祉ニーズ調査【市民(18 歳以上)】

問4 市内での居住年数(市外への転居期間を除く通算年数)を教えてください。(1 つに○)

1 1 年未満	4 5 年以上 10 年未満	7 30 年以上
2 1 年以上 3 年未満	5 10 年以上 20 年未満	
3 3 年以上 5 年未満	6 20 年以上 30 年未満	

問5 住居形態を教えてください。(1 つに○)

1 持ち家(一戸建て)	5 公営住宅(市営・都営住宅等)
2 持ち家(集合住宅)	6 社宅・公務員住宅等
3 民間賃貸(一戸建て)	7 上記以外
4 民間賃貸(集合住宅)	

問6 同居している家族構成を教えてください。(1 つに○)

1 ひとり暮らし	5 ひとり親と子ども(一番下の子どもが 18 歳以上)
2 夫婦のみ	6 ひとり親と子ども(一番下の子どもが 18 歳未満)
3 夫婦と親(二世帯同居)	7 三世帯同居
4 夫婦と子ども(二世帯同居)	8 上記以外

問7 現在の職業を教えてください。(1 つに○)

1 正規の社員・職員・役員	5 学生
2 非正規の社員・職員(嘱託・パート・アルバイト・契約・派遣)	6 無職
3 自由業・自営業(家業手伝いを含む)	7 上記以外
4 専業主婦・主夫	

2 ご近所付き合いについておたずねします

問8 ご近所付き合いは、どの程度していますか。(主なもの1つに○)

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1 家を行き来するなど、親しくしている | 3 あいさつをする程度 |
| 2 立ち話をする程度 | 4 ご近所付き合いをしていない →付問へ |

付問 問8で「4 ご近所付き合いをしていない」と答えた人におたずねします。ご近所付き合いをしていない理由は何ですか。(いくつでも○)

- | |
|-----------------------------|
| 1 仕事や学業, 家事・育児などで忙しく時間がないから |
| 2 引っ越してきて間もないから |
| 3 普段, 付き合う機会がないから |
| 4 同世代の人が近くにいないから |
| 5 気の合う人や話の合う人が近くにいないから |
| 6 あまり関わりをもちたくないから |
| 7 その他(具体的に: _____) |

コラムの内容は今後検討



コラム

支え合う地域づくりのために、あなたもはじめてみませんか？



ポイント1 あいさつから はじめよう
(地域の人とつながるために)

ポイント2 見守ってみよう
(おせっかいな気持ちで)

ポイント3 ひとりでできなくても
(地域の人と一緒に)

出典:調布市地域福祉計画

3 市民同士の支え合い, 地域活動についておたずねします

問9 あなたは次の事柄について, 家族以外のまわりの人から手助けをしてほしいと思いますか。また, まわりの人に手助けできること(してもいいこと)はありますか。①手助けしてほしいか, ②手助けできるかについて, それぞれ1つに○を付けてください。

	①手助けしてほしいか		②手助けできるか	
	してほしい	してほしくない	できる・してもいい	できない・しない
回答例	①	2	①	2
ア 安否確認の声かけ	1	2	1	2
イ ちょっとした買い物やごみ出し	1	2	1	2
ウ 食事や掃除・洗濯の手伝い	1	2	1	2
エ 通院の送迎や外出の手助け	1	2	1	2
オ 子どもの預かり	1	2	1	2
カ 話し相手や相談相手	1	2	1	2
キ 災害時避難の手助け	1	2	1	2
ク 具合がよくない時に病院などに連絡する	1	2	1	2

問10 家族以外のまわりの人に, 問 9 ア～クのような手伝いや手助けをする(してもらう)にあたり, どのような取組があるとよいと思いますか。(いくつでも○)

1 手助けしてほしい人と手助けできる人をコーディネート(紹介)する仕組み 2 手助けしてほしい人や事柄を知ることのできる仕組み 3 手助けできる人の人柄やスキルを知ることのできる仕組み 4 その他(具体的に:) 5 取組は必要ない(できる時はする) 6 わからない
--

- 問11 あなたは地域での活動に参加したり、地域のために日頃から心掛けていることはありますか。
①現在の状況、②今後の意向をお答えください。市内では多くの地域活動・ボランティア活動が行
 われています。①あなたは、次のような活動に取り組んでいますか、②今後、次のような活動に取
 り組みたいですか。(それぞれ1つに○)

	①現在の状況		②今後の意向		
	取り組んでいる、 <u>心掛けている</u>	取り組んでいない、 <u>心掛けていない</u>	取り組みたい、 興味がある	取り組みまない、 興味がない	わからない
回答例	①	2	①	2	3
ア 子育て世帯・青少年を支援する活動, 子ども会や PTAの活動	1	2	1	2	3
イ 高齢者を支援する活動	1	2	1	2	3
ウ 障害のある人を支援する活動	1	2	1	2	3
エ お祭りや運動会などのレクリエーション活動, 地域の伝統や文化を伝える活動	1	2	1	2	3
オ 交通安全や犯罪防止など, 地域の安全を守る活動	1	2	1	2	3
カ 防災訓練や災害時に救援・支援をする活動	1	2	1	2	3
キ <u>道路等のごみ拾い、自宅周辺の清掃</u> , 環境美化, 環境保全・自然保護などの活動	1	2	1	2	3
ク 自治会・地区協議会・老人クラブなどの活動	1	2	1	2	3
ケ 趣味・習いごとなどの活動	1	2	1	2	3

調布市民福祉ニーズ調査【市民(18 歳以上)】

問12 あなたが身近な活動拠点として利用している施設や場所はどこですか。(いくつでも○)

1 文化会館たづくり	7 図書館
2 地域福祉センター	8 小学校・中学校
3 総合福祉センター	9 民間の施設(具体的に:)
4 市民活動支援センター	10 個人宅
5 ふれあいの家	11 その他(具体的に:)
6 公民館	12 どこも利用していない

問13 どのような条件であれば、地域活動・ボランティア活動に参加・活動しやすいですか。
(いくつでも○)

1 子どもの世話や介護を代わってもらう	7 参加することでメリットがある(報酬など)
2 活動や団体に関する情報を紹介してくれる	8 活動資金の補助や援助がある
3 友人・知人と一緒に参加できる	9 その他
4 時間や期間にあまりしばられない	(具体的に:)
5 身近なところに活動できる場がある	10 わからない
6 世話人やリーダーがいる	11 条件によらず、参加したくない

問14 地域活動・ボランティア活動の情報をどのような方法で探しますか。(いくつでも○)

1 市や社会福祉協議会の広報・ホームページ	6 活動団体や大会・イベントのホームページ
2 図書館・公民館などにあるポスター・チラシ	7 SNS※を活用
3 学校や職場にあるポスター・チラシ	8 友人・知人に聞く
4 駅やお店にあるポスター・チラシ	9 その他(具体的に:)
5 ボランティアなどの募集情報サイト	10 わからない, 関心がない

※ SNS (ソーシャル・ネットワーキング・サービス) とは, X(旧 Twitter), LINE, Facebook 等の登録された利用者同士が交流できる, コンピュータやスマートフォンなどを使用したインターネット上のサービス。

問15 あなたが地域活動・ボランティア活動に参加する場合, どのような点を重視しますか。
(いくつでも○)

1 気軽にできること(単発, 時間が短いなど)	7 自分の将来に役立つこと
2 長く続けられること	8 自分の技能・経験をいかせること
3 誰にでもできること	9 人の役に立つこと
4 体を動かせること	10 より良い社会につながる事
5 多くの人と関われること	11 その他(具体的に:)
6 新しい経験や学びを得ること	12 わからない, 関心がない

問16 近年,さまざまな主体による地域活動が行われています。あなたが参加しやすい活動は何ですか。
(いくつでも○)

- | | |
|---|--|
| 1 地縁を基盤とする活動(自治会・地区協議会・老人クラブ・マンション管理組合など) | |
| 2 特定分野の法人を基盤とする活動(NPO 法人・社会福祉法人など) | |
| 3 同じ趣味・志向をもつ人達の活動(趣味の同好会・教室・子育てサークルなど) | |
| 4 学校などを基盤にする活動(保護者会・PTA・おやじの会など) | |
| 5 その他(具体的に: _____) | |
| 6 わからない, 関心がない | |

4 暮らしのことについておたずねします

問17 新型コロナウイルス感染症の流行により,あなたの暮らしにどのような影響がありましたか(影響があった時期は問いません)。(それぞれ1つに○)

問削除		増えた	変化なし	減った	事柄が該当しない わからない
回答例		①	2	3	4
ア	勉強や学習などのスキルアップに充てる時間	1	2	3	4
イ	人と直接会って話す頻度	1	2	3	4
ウ	人と電話や LINE など話す頻度	1	2	3	4
エ	福祉サービスの利用頻度(保育, 介護, 障害等を含む)	1	2	3	4
オ	興味や関心のあることに充てる時間	1	2	3	4

問18 これまでに経済的に困った経験がありますか。(1つに○)

- | | |
|--|--------|
| 1 現在困っている
2 現在は困っていないが、困ったことがある
3 困ったことはない | } →付問へ |
|--|--------|

付問 問18で「1～2(困っている, 困ったことがある)」と答えた人におたずねします。困っている(困った)原因は何ですか。(いくつでも○)

- | | |
|---|---|
| 1 仕事をしていない・できない
2 収入が少ない(年金含む)
3 頼れる家族や友人がいない
4 病気がある・家族の介護
5 障害がある
6 支出が多い(収入はあるが、使いすぎてしまう)
7 ギャンブルやアルコールへの出費
8 <u>食料品や生活必需品などの物価の高騰</u>
9 その他(具体的に: |) |
|---|---|

問19 あなたの地域で次のような世帯を見たり、聞いたりしたことがありますか。(いくつでも○)

- | | |
|--|---|
| 1 大量のごみが自宅や周辺に放置されている世帯(ごみ屋敷)
2 高齢者のみで構成され、主に世帯員同士が介護している世帯(老老介護)
3 近隣や地域と関わりをもたない世帯(孤立世帯)
4 自宅にひきこもっている人がいると思われる世帯(ひきこもり※1)
5 高齢の親がひきこもり状態にある中高年の子どもの生活を支えている世帯(8050問題)
6 子育てと親の介護を一人で同時に抱えている世帯(ダブルケア)
7 未成年の子どもが家族の介護などによって、自分の時間をもてない世帯(ヤングケアラー※2)
8 家族の間で虐待が疑われる世帯(虐待)
9 上記以外で、深刻な課題を抱えていると思われる世帯
(具体的に: |) |
| 10 見たり、聞いたりしたことはない | |

※1 ひきこもりとは、様々な要因の結果として社会的参加(就学, 就労, 家庭外での交流など)を回避し、原則的には6ヶ月以上にわたって概ね家庭にとどまり続けている状態(他者と交わらない形での外出をしてもよい)

※2 ヤングケアラーとは、本来、大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを子どもが日常的に行っていることにより、子ども自身がやりたいことをできないなど、子ども自身の権利が守られていないと思われる子どものこと。

問20 ご近所に近隣と関わりをもたず、何らかの支援が必要と思われる世帯を発見した場合、あなたはどのように行動しますか。(1 つに○)

- 1 自分で様子を見に行く
- 2 近隣の人に連絡・相談する
- 3 自治会役員や民生委員・児童委員に連絡・相談する
- 4 市の相談窓口や相談機関(地域包括支援センターなど)に連絡・相談する
- 5 警察に連絡・相談する
- 6 何もしない
- 7 わからない

問削除

問21 日常生活での困りごとを相談できる人や機関はありますか。(いくつでも○)

- 1 同居の家族
- 2 別居の家族や親戚
- 3 自治会や近所の人
- 4 友人・知人
- 5 仕事・学校関係者(職場の同僚・学校の先生等)
- 6 民生委員・児童委員
- 7 地域福祉コーディネーター※1
- 8 ケアマネジャー(介護支援専門員)※2・ヘルパー(介護員)などの事業者
- 9 かかりつけ医や保健師などの医療関係者
- 10 市役所
- 11 社会福祉協議会
- 12 地域包括支援センター
- 13 ちょうふ若者サポートステーション※3
- 14 子ども家庭支援センターすこやか
- 15 調布ライフサポート※4
- 16 その他(具体的に:)
- 17 身近に相談できる人や機関はない

変更
選択肢を追加

※1 地域福祉コーディネーター(コミュニティソーシャルワーカー=CSW)は、生活上の悩みや困りごとを抱える人に対し、さまざまな機関・団体と連携しながら課題の解決を図るとともに、住民主体の活動の促進や地域でのネットワーク構築といった取組を進める役割を担う。

※2 ケアマネジャー(介護支援専門員)は、要介護(要支援)認定者からの介護サービスの利用に関する相談、適切な居宅サービス・施設サービスを利用するためのケアプランの作成、サービス事業者などとの連絡調整を行う専門職。

※3 ちょうふ若者サポートステーションは、15～49 歳対象の職業的自立のための総合相談窓口。

※4 調布ライフサポートは、経済的な理由などで困っている人に対するトータルな相談窓口。

問22 現在、あなた自身やご家族は、どこに相談すればいいかわからない生活上の困りごとを抱えていますか。(1つに○)

- | | | |
|------|------|-------|
| 1 はい | →付問へ | 2 いいえ |
|------|------|-------|

付問 問22で「1 はい」と答えた方におたずねします。差し支えなければ、お困りの内容をお聞かせください。(いくつでも○)

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1 自分・配偶者の健康・病気 | 7 住まい |
| 2 自分・配偶者の学業・仕事 | 8 お金(財産管理・相続含む) |
| 3 親の健康・病気・介護 | 9 人間関係, 人との付き合い方 |
| 4 兄弟姉妹の健康・病気・介護 | 10 その他 |
| 5 子ども・孫の学業・仕事 | (具体的に:) |
| 6 子ども・孫の健康・病気 | |

問23 あなたは、身近な地域の中で不安や課題と感じていることはありますか。(いくつでも○)

- | | |
|------------------|------------------------|
| 1 子育て, 子どもの教育のこと | 8 ご近所付き合い, 友だち付き合いのこと |
| 2 健康のこと | 9 防犯, 地域の安全のこと |
| 3 介護のこと | 10 災害時のこと |
| 4 老後の生活のこと | 11 気軽に相談できる人(機関)が少ないこと |
| 5 住まいや住宅のこと | 12 その他 |
| 6 仕事のこと | (具体的に:) |
| 7 経済的なこと | 13 特になし |

問24 調布市の保健福祉施策(サービス)に関する情報をどこから入手していますか。(いくつでも○)

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| 1 市のホームページ | 5 家族, 友人・知人からの口コミ |
| 2 市の広報紙・チラシ | 6 SNS |
| 3 市役所・相談機関などの窓口 | 7 その他(具体的に:) |
| 4 テレビ(ケーブルテレビを含む)・ラジオ | 8 特になし, 情報は入手していない |

問25 普段、スマートフォンなどの情報端末やパソコンを使っていますか。(1つに○)

- | | |
|---------|----------|
| 1 使っている | 2 使っていない |
|---------|----------|

問26 市や社会福祉協議会の講座やイベントがオンライン開催(インターネットを介して参加する方法)されたら、参加しやすくなりますか。(1つに○)

- | | | |
|------------|---------|------------|
| 1 参加しやすくなる | 2 変わらない | 3 参加しづらくなる |
|------------|---------|------------|

5 市民の権利を守る取組についておたずねします

問27 市や社会福祉協議会等で行っている下記の制度や事業をご存知ですか。(それぞれ1つに○)

	知っている	(聞いたことはある 内容は知らない)	知らない	説明
ア 成年後見制度	1	2	3	認知症・知的障害・精神障害・発達障害などによって物事を判断する能力が十分ではない人について、本人の権利を守る援助者(成年後見人など)を選ぶことで、本人を法律的に支援する制度。
イ 法定後見制度	1	2	3	本人の判断能力が不十分になった後、家庭裁判所によって成年後見人などが選ばれる制度。本人の判断能力の状態などに応じて「後見」「保佐」「補助」の3つの制度がある。
ウ 任意後見制度	1	2	3	本人に十分な判断能力があるうちに、将来、判断能力が低下した場合には、あらかじめ本人自らが選んだ人(任意後見人)に代わりにしてもらいたいことを契約(任意後見契約)で決めておく制度。
エ 市民後見人	1	2	3	社会貢献的な精神に基づき、成年後見人などとしての必要な知識と技量を身に付け、家庭裁判所が選任した一般市民の成年後見人などのこと。 親族でもなく、弁護士などの専門職でもない第三者の立場で、判断能力が十分でない人の金銭管理や福祉サービス利用契約などを本人に代わって行い、本人の暮らしを支援する。
オ 専門職紹介制度	1	2	3	第三者後見人による支援を必要としている市民に、多摩南部成年後見センターに登録している弁護士・司法書士・社会福祉士を紹介する制度。
カ 地域福祉権利擁護事業	1	2	3	高齢者や障害のある方に対して、福祉サービス利用の援助、郵便物の確認や書類手続き、預貯金の入出金や支払い手続き等を支援する。

変更前

~~旧 問 28 ご自身の判断能力が低下し、財産の管理や身の回りの手続きなどに支援が必要となった場合、誰に支援をしてほしいですか。(2 つまで○)~~

- | | |
|---------------------------|----------|
| 1 家族・親族 | 4 市民後見人 |
| 2 友人・知人 | 5 その他 |
| 3 成年後見人(弁護士・司法書士・社会福祉士など) | (具体的に:) |
| | 6 わからない |

変更後

問28 あなたやご家族のどなたかが認知症などによって判断が十分にできなくなる場合に備えて、あるいは既にできない場合、上記(問 27)のいずれかの制度を利用したいと思いますか。(1 つに○)

- | | | | |
|-------------------|------------------|----------------|----------------|
| <u>1 既に利用している</u> | <u>2 利用を検討する</u> | <u>3 利用しない</u> | <u>4 わからない</u> |
|-------------------|------------------|----------------|----------------|

付問 問 28 で「3 利用しない」と答えた方におたずねします。制度を利用しない主な理由は何ですか。(○はいくつでも)

- | |
|------------------------------------|
| <u>1 制度の内容や利用方法がわからない</u> |
| <u>2 事務手続きが難しい</u> |
| <u>3 後見人に財産管理や契約手続きを任せるのは不安</u> |
| <u>4 経済的な理由や身寄りがいないために、申立てが難しい</u> |
| <u>5 家族などに支援してもらいたい</u> |
| <u>6 その他(具体的に:)</u> |

6 誰もが暮らしやすいまちづくりについておたずねします

問29 災害時についての不安や心配ごとはありますか。(いくつでも○)

1 老朽化など、お住まい(家屋)のこと	5 ご自身の歩行に不安があること
2 家具や家電の転倒対策が不十分なこと	6 同居のご家族の歩行に不安があること
3 食糧や日用品の備蓄が不十分なこと	7 その他(具体的に:)
4 避難所がはっきりわからないこと	8 特に不安や心配ごとはない

問30 地域のつながりに対する考え方について、あなたはどのように思いますか。(それぞれ1つに○)

	とても そう思う	そう 思う	あまり 思わない	そうは 思わない
回答例	①	2	3	4
ア ホームレスの問題は、本人だけでなく、社会全体の問題である	1	2	3	4
イ 生活保護を受けている人に対する差別や偏見の問題は、社会全体の問題である	1	2	3	4
ウ 障害や病気があっても自分らしく暮らすためには、地域のつながりが重要となる	1	2	3	4
エ ひきこもりやニート※ ¹ の問題は、本人や家庭だけでなく、地域のつながりが重要となる	1	2	3	4
オ 家庭内の虐待を防ぐことは、本人や家庭だけでなく、地域のつながりが重要となる	1	2	3	4
カ DV※ ² 被害を防ぐことは、本人や家庭だけでなく、地域のつながりが重要となる	1	2	3	4
キ ひとり親家庭の自立を支援するためには、本人や家庭だけでなく、地域のつながりが重要となる	1	2	3	4
ク 認知症や老老介護の問題は、本人や家庭だけでなく、地域のつながりが重要となる	1	2	3	4

※1 ニートとは、若者のうち、学校や仕事に行かず、求職活動や職業訓練などをしていない人。

※2 DV(ドメスティック・バイオレンス)とは、配偶者や恋人など親密な関係にある(またはあった)者から振るわれる暴力。身体的な暴力だけでなく、精神的・経済的・性的な暴力など、あらゆる暴力を含む。

調布市民福祉ニーズ調査【市民(18 歳以上)】

問31 市内のバリアフリー・ユニバーサルデザインについて、どのように感じていますか。(それぞれ 1 つに○)

	とても充実している	充実している	あまり充実していない	充実していない	わからない
回答例	①	2	3	4	5
ア 車いすの人や誰もが安全に通れる建物の出入口や通路(段差をなくす, 幅を広げるなど)	1	2	3	4	5
イ 公共施設や病院などのスロープ, エレベーターやエスカレーター	1	2	3	4	5
ウ 車いすの方や乳幼児を連れた方など, 誰もが使いやすいトイレ	1	2	3	4	5
エ 歩きやすいように障害物(商品や看板, 放置自転車, 電柱など)が取り除かれ, 段差や凹凸が少なく, 十分に幅のある歩道や道路	1	2	3	4	5
オ 点字ブロックや視覚障害者用の信号機	1	2	3	4	5
カ 車いすやベビーカーで乗降しやすい超低床バスやリフト付バス	1	2	3	4	5
キ 障害者用の駐車場	1	2	3	4	5
ク 大きな文字・絵・複数の言語を用いた, 誰もがわかりやすい案内標示	1	2	3	4	5
ケ 手話への対応や音声ガイドがある施設	1	2	3	4	5
コ 補助犬と同伴での入室が配慮された店・レストランなど	1	2	3	4	5
サ 公園, 道路などを含む, まち全体のユニバーサルデザイン※	1	2	3	4	5
シ 高齢者, 子ども連れの家族, 障害や病気などがある人に対する人々の接し方や配慮	1	2	3	4	5

※ ユニバーサルデザインとは, 障害の有無・年齢・性別・人種などに関わらず, 多様な人が利用しやすいよう, 事前に環境などをデザインすること。

問32 誰もが暮らしやすいまちづくりに向けて、病気・障害・国籍・生活習慣などの違いによる心理的な障壁を取り除く(心のバリアフリー)ために、特に必要な取組は何だと思いますか。(2つまで○)

- | |
|--|
| 1 学校において、お互いを理解し、思いやる心を醸成するための教育
2 意識啓発のための研修・講演会の開催
3 多様な背景をもつ人々が交流する機会の増加
4 わかりやすい、使いやすい情報の提供
5 その他(具体的に:)
6 わからない |
|--|

問33 調布市の保健福祉施策(サービス)をより充実していくために、特に重要と考える取組は何ですか。(3つまで○)

- | |
|---|
| 1 相談体制や情報提供の充実
2 利用者の立場や権利を保護・擁護する制度の充実
3 子どもから高齢者までの健康や介護予防を支援する保健事業の充実
4 在宅サービスの質と量の確保
5 施設サービス(保育園や入所施設など)の質と量の確保
6 ボランティア団体やNPOなどの育成・活動支援
7 市民同士が支え合う仕組みの充実
8 民間活力の導入による福祉サービスの確保と活性化
9 市民・関連団体・行政の連携と協働の推進
10 市民への福祉意識の啓発
11 その他(具体的に:) |
|---|

問34 市民同士がお互いに支え合い、住み慣れたまちで誰もが安心して暮らすまちづくりの取組について、ご意見、ご提案をお聞かせください。(自由記述)

ア 地域活動, 市民同士の支え合い	
イ 相談, サービス	
ウ 安全・安心	
エ 上記以外	

アンケートは以上です。たくさんの質問にお答えいただき、誠にありがとうございました。
調査結果は市ホームページで公表し、図書館などで閲覧できます(令和8年4月頃の予定)。

※新規追加の設問案

(注)

- 問番号は仮。設問を掲載する位置を決定後に振り直す
- 赤字, 見え消しは, 参考とした国の設問から市独自にアレンジした内容

▶番号1 孤独・孤立対策推進に向けた状況把握／4調査共通

(設問意図)

下記のア～ウ(人とのつきあいがない・取り残されている・孤立している＝間接設問)の回答を点数化・合計数値化して「孤独感尺度」を算出する。(※エは参考＝直接設問)

★参考:「人々のつながりに関する基礎調査(令和5年)」(内閣官房孤独・孤立対策担当室)

問35 次の項目についてあなたはどれくらいの頻度で感じていますか。(それぞれ1つに○)

	決してない	ほとんどない	時々ある	常にある
ア 自分には人とのつきあいがないと 感じることもある	1	2	3	4
イ 自分は取り残されていると感じる ことがある	1	2	3	4
ウ 自分は他の人たちから孤立して いると感じることがある	1	2	3	4
エ 自分は孤独であると感じることが ある	1	2	3	4

(設問意図)

客観的な孤立(社会的つながり)状況を測る設問として、国の調査(★)を参考に、①家族・友人等とのコミュニケーション頻度(社会的交流 問36)、②社会活動への参加状況(社会参加 本文の問11)、③相談相手の有無(社会的サポート(他者からの支援 本文の問21))の状況から孤立の状態を把握する。

★参考:孤独・孤立の実態把握に関する全国調査(令和 6 年人々のつながりに関する基礎調査)

問36 家族や友人たちとのコミュニケーション頻度についてお尋ねします。あなたと家族や友人たちとのコミュニケーション頻度について、同居する相手と同居していない相手それぞれにお答えください。
(ア～ウについては、同居人がいない場合は回答不要です。) (それぞれ1つに○) ★国問16

同居 状況	コミュニケーション方法	週 4 ～ 5 回 以上	週 2 ～ 3 回 程度	週 1 回 程度	2 週 間に 1 回 程度	月 1 回 程度	月 1 回 未 満	全 く な い ・ で き な い
同居する相手 (同居している 人のみ回答)	ア 直接会って話す(手話等を含む)	1	2	3	4	5	6	7
	イ 電話(ビデオ通話含む)	1	2	3	4	5	6	7
	ウ SNS や電子メールなど	1	2	3	4	5	6	7
同居していな い相手	エ 直接会って話す(手話等を含む)	1	2	3	4	5	6	7
	オ 電話(ビデオ通話含む)	1	2	3	4	5	6	7
	カ SNS や電子メールなど	1	2	3	4	5	6	7

▶番号2 ひきこもり支援の推進に向けた状況把握／市民, 高齢者, 障害者

(設問意図)

下記の選択肢5～8の合計を「広義のひきこもり群」、6～8の合計を「狭義のひきこもり群」と定義し、その割合の把握や分析軸として活用する。

★参考:「子ども・若者の意識と生活に関する調査(令和4年度)」(内閣府政策統括官(政策調整担当))

問37 あなたは普段どのくらい外出しますか。現在のことについてお答えください。(○は1つ)

1. 仕事や学校で平日は毎日外出する
2. 仕事や学校で週に3～4日外出する
3. 遊び等で頻繁に外出する
4. 人づきあいのためにときどき外出する
5. 普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する
6. 普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける
7. 自室からは出るが、家からは出ない
8. 自室からほとんど出ない

広義のひきこもり群

狭義のひきこもり群

付問1 問で「5～8」のいずれかに回答した方にうかがいます。

あなたの外出状況が現在の状態となって、どのくらい経ちますか。(○は1つ)

1. 6か月未満
2. 6か月以上

付問2 付問1で「2」に回答した方にうかがいます。

あなたの外出状況が現在の状態になった主な理由は何ですか。(いくつでも)

1. 病気
2. 妊娠したこと
3. 介護・看護を担うことになったこと
4. その他(具体的に:)
5. 特に理由はない
6. わからない

▼家族に対象範囲を広げる設問案（国の設問にはない）。

問38 あなた以外で、市内にお住まいのご家族(同居・別居問わず)に下記の外出状況が当てはまる人はいますか。ただし、期間が6か月未満の人や、仕事、学校、病気、妊娠、介護・看護が理由の人を除きます。(○は1つ)

1. 普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する

2. 普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける

3. 自室からは出るが、家からは出ない

4. 自室からほとんど出ない

広義のひきこもり群

狭義のひきこもり群

5. いずれもない

参考： 内閣府「令和4年度 こども・若者の意識と生活に関する調査」

(参考)「ひきこもり」の定義

様々な要因の結果として社会的参加（就学，就労，家庭外での交遊など）を回避し，原則的には6ヵ月以上にわたって概ね家庭にとどまり続けている状態を指す現象概念（他者と交わらない形での外出をしてもよい）「ひきこもりの評価・支援に関するガイドライン」（平成22年5月）（厚生労働科学研究でとりまとめ）

「ふだんどのくらい外出しますか」という設問に対し，

①自室からほとんど出ない，②自室からは出るが，家からは出ない，③近所のコンビニなどには出かける，④趣味の用事のときだけ外出する，のいずれかを回答し，かつ，その状態となつて6か月以上経つと回答した者を「広義のひきこもり群」と定義。

(①～③が狭義のひきこもり群，④が準ひきこもり群)

調査時期	調査対象者	有効回答数	広義のひきこもり群			(内 訳)			
						狭義のひきこもり群		準ひきこもり群	
			実数	出現率	推計数	実数	推計数	実数	推計数
平成27年度	15～39歳	3,115人	49人	1.57%	54.1万人	16人	17.6万人	33人	36.5万人
平成30年度	40～64歳	3,248人	47人	1.45%	61.3万人	28人	36.5万人	19人	24.8万人

出典：厚生労働省資料 <https://www.mhlw.go.jp/content/11601000/000779362.pdf>

▶番号3 更生支援(再犯防止)の推進に向けた状況把握／市民、高齢者、障害者
(設問意図)

「再犯防止」についての周知状況を把握し、今後指標としての活用を検討する。また、保護司等の更生保護ボランティアの認知度や更生支援(再犯防止)に関する社会的包摂や地域における支え合いの意識を把握する。

問39 犯罪や非行の防止, 犯罪や非行をした人たちの更生に協力する下記の民間協力者がいることを知っていますか。(○はいくつでも)

1 保護司	犯罪や非行をした人の立ち直りを地域で支える民間ボランティア。保護観察対象者となった人へ保護観察を行う。法務省から委嘱。
2 更生保護女性会	犯罪・非行の未然防止のための啓発活動を行い, 青少年の健全な育成を助け, 犯罪をした人や非行少年の改善更生に協力する女性ボランティア。
3 協力雇用主	犯罪をした人等の自立及び社会復帰に協力することを目的として, 犯罪をした人等を雇用し, 又は雇用しようとする民間の事業主。
4 BBS会	問題を抱える少年が自分自身で問題を解決したり, 健全に成長していくことを支援し, 犯罪や非行のない地域社会を目指す青年ボランティア団体。
5 再犯防止推進法	平成 28 年 12 月に, 再犯の防止等に関する施策に関する基本理念等を定めた「再犯の防止等の推進に関する法律(再犯防止推進法)」が施行。毎年7月を再犯防止啓発月間と定めた。
6 社会を明るくする運動	犯罪や非行の防止と, 立ち直り支援への正しい理解を深めるための全国的な運動。毎年7月の強調月間に広報活動を展開している。
7 いずれも知らない	

問40 再犯防止に関して広く市民の理解や関心を深めるためには, どのような取組が必要だと思いますか。(3 つまで○)

1 テレビや新聞などでの広報
2 ホームページや SNS での情報発信
3 パンフレットやポスターでの広報
4 誰もが参加できるイベントの開催
5 地域や社会教育の場で話し合う機会を持つ
6 学校の授業や職場の研修で取り上げる
7 その他(具体的に:)
8 わからない

問41 再犯防止を推進するために、市民が協力できることは何だと思いますか。(3 つまで○)

- | |
|---|
| 1 再犯防止に関するボランティア活動に参加する
2 地域で行う広報・啓発活動に参加する
3 再犯防止に協力している民間の協力者にお金や物品を寄付する
4 犯罪をした人に直接会って継続的に助言や援助をする
5 犯罪を地域の問題として捉え、地域ぐるみで再犯防止に向けた支援をする
6 協力雇用主として、犯罪をした人を雇用する
7 協力は難しい
8 その他(具体的に:)
9 わからない |
|---|

▶番号5 意思疎通支援に関する設問／4調査共通

(設問意図)

R6年度に手話言語条例・障害者の多様な意思疎通に関する条例を制定したことから市民への普及状況を把握する。

問42 調布市が、共生社会の充実のため、令和6年度に2つの条例を制定したことを知っていますか。

(それぞれ1つに○)

	内容を知っている	聞いたことはある (内容は知らない)	知らない	説明
回答例	①	2	3	
ア 調布市手話言語条例	1	2	3	独自の言語である手話に対する理解促進と普及を推進するための条例
イ 調布市障害者の多様な意思疎通に関する条例	1	2	3	障害の特性に応じた多様な意思疎通(コミュニケーション)のための手段, 配慮, 支援等に対する理解促進と普及を推進するための条例